

今回は、岩槻区の市立新和小学校の取組を御紹介します。  
新和小学校では、家庭・地域と共に食育に取り組んでいます。

### 地域の生産者の協力を得て、様々な勤労生産活動に取り組んでいます。

2年生のさつまいも栽培・3年生のクワイ栽培・4年生の小松菜栽培（令和3年度からチャレンジスクールでの取組になりました。）・5年生の稲作体験などです。5年生の稲作は、地元農家の方の協力で今年で30年目を迎え、土に触れる経験の少ない子どもたちにとって、田んぼに入っの植付けは貴重な体験となり、植付けや刈り取り作業をとおして、大変さを身をもって学ぶことができます。収穫したお米は自分たちで調理していただきます。（令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、給食でいただきました。）



【地域の方と一緒にクワイ栽培】

また、クワイの栽培も行っており、J A南彩の岩槻くわい共販出荷組合の方々の指導を受け、バケツで栽培します。子どもたちは、バケツに土と水を入れてかき混ぜ一人あたり3つの種子を植え付けます。収穫時には「クワイを取り出すのが大変だったけど面白かった。」など喜びの声が多く聞かれます。地域の方々の「土に触れることは貴重なこと。クワイを育てる体験をとおして地元の伝統野菜をより身近に感じ、学んで欲しい。」といった思いに応えてくれています。

### 新和だからできること、新和でなければできないことを大切にしています。



【調理前の野菜を触らせてもらって】

J A南彩と共催で地産地消を意識した「A I (All Iwatsuki) (あい) のある給食」を行い、地元野菜・季節に合わせたヨーロッパ野菜を取り入れた献立を提供しています。昨年度は、3年目になる「さいたま市学校給食統一献立～10万人でいただきます！給食～」で、ヨーロッパ野菜を用いたカレーやサラダが提供されました。「ヨーロッパ野菜研究会」の中心メンバーが本校の地元の方であるため、ヨーロッパ野菜に直接触れる機会を持つことができる環境を利用し、シェフ給食と併せて「ヨーロッパ野菜を知る会」を全校で行いました。その際には、事前に環境委員会がヨ

ヨーロッパ野菜の栽培に取り組み、当日には、生産者の方が実際に持ってきてくださった野菜を見たり触れたりすることでより一層親しみを持つことができました。

このように、食や実際の体験をとおして、子どもたちに命の大切さや伝統を守り、新しさを切り拓くことの大切さなどを考えてもらえるよう、学校・家庭・地域が一体となって育てていく取組を行っています。

新和小学校の取組からは、生産活動の体験や地産地消を意識した給食を取り入れるなど、家庭・地域の方々と共に連携しながら、“新和”ならではの食育に取り組んでいる様子が伝わってきます。

今回は、緑区の市立大門小学校の取組を御紹介します。

大門小学校では、地域の皆様に協力をいただきながらSDGs教育に取り組んでいます。

### 「日光御成道チャレンジ強歩」

「日光御成道チャレンジ強歩」は、「日光御成道」の大門宿から隣の岩槻宿まで、約3里（約13.5km）を、6年生の児童が、同行の保護者や地域住民とともに歩き通すことで、地域の歴史や自然に触れ、やり抜く力や協力する心を培う活動です。

令和2年度は「日光御成道チャレンジ強歩～見沼コース～」として、PTA、保護者、育成会等180名近くのスタッフの協力のもと、5、6年生が参加しました。

6年生は総合的な学習の時間に、大門の地域の歴史についても学習をし、「チャレンジ強歩」を通して、地域の方に支えられて自分たちがいること、これからの大門の地域の未来を自分たちが支えていくことを目指して取り組んでいます。自らの地域の素晴らしさや地域の連携を感じ得る行事となっています。



【日光御成道チャレンジ強歩】

### 【サクラの樹木診断体験】



### 「樹木診断体験」

大門小学校は、野鳥の森があり、多くの樹木・草花に囲まれた自然環境豊かな学校です。昨年度の土曜のびのび教室（土曜チャレンジスクール）では、さいたま市長、教育長に御臨席いただき、さいたま市造園業協会の協力を得て、「樹木診断体験」をしました。

当日は、室内で樹木医の先生から木々について学習し、その後、野鳥の森の岩石園にあるサクラ（ソメイヨシノ）の「樹木音波診断体験」をしました。音波を使って樹木の中を診て、「樹木全体としては健康である」ことが分かりました。しかし、樹齢90年以上となるサクラは根が地表にむき出しになる部分が見られ、腐食も見られるとのこと。大門小学校のことを見守ってきた樹木について学び、もっと大切にしたい考えるきっかけとなり、自然環境の大切さを知るよい機会となりました。

### 「大門、新発見・再発見！」

ハッピーファーム（学校ファーム）では、じゃがいも、さつまいも、米、大根等、季節の野菜を各学年が育てています。自身が育てた食材を収穫し、給食で調理をしてもらい、食べることで、残さずに食べようという心を育てることを目指しています。

5年生は、毎年地域の方に御協力いただき、総合的な学習の時間「大門、新発見・再発見！」の単元で、田植え体験を行い、米作りをしています。また、4年生は「10歳のわたし」の単元で、自分が暮らす大門の地域に関わる方から話を聞き、これから自分がどのように地域に関わっていきたいかについて考え、行動する学習を行っています。

小学校生活6年間を通して、豊かな自然環境を生かした学習や地域の方の力を借りた学習を通して、大門の地域の素晴らしさについて考えることができている。



【豊かな自然と地域の人材を活用した教育活動】

大門小学校では、地域や保護者の皆様たちに御協力をいただきながら、児童が色々な体験ができることで、地元大門の素晴らしさや自然環境の大切さを学ぶことができ、SDGs教育に重点が置かれている様子がうかがえます。

今回は、北区の市立宮原小学校の取組を御紹介します。

宮原小学校では、コロナ禍においても工夫して地域学校協働活動に取り組んでいます。

### 「大宮花の丘農林公苑ウォークラリー」

令和2年10月24日（土）9時から11時にかけて、土曜チャレンジスクールで「大宮花の丘農林公苑ウォークラリー」を実施しました。

22名の児童と12名のボランティア、保護者15名が参加し、宮原体育振興会との共催の下、大宮花の丘農林公苑（愛称；大宮花の丘公苑）までのウォークラリーを行いました。大宮北高校の脇を抜け、戸崎公園でトイレ休憩をとりながら、途中「三貫清水」などの話を聞いたり、公苑に到着後は、三密を避けながらレクリエーションを行いました。

帰りには鎌倉街道の一部を通して、全員無事に学校に着き保護者と共に帰宅しました。



【大宮花の丘農林公苑ウォークラリー—集合写真】

### 「リモートによる社会科見学」

#### 【リモートによる社会科見学の授業風景】



令和2年11月24日（火）2校時、3年生の各教室で、学校と地域にある工場をオンラインで結びリモートによる社会科見学を実施しました。

工場の方から会社の概要説明をうけた後、生産ライン等の映像を見せていただきました。最後に質疑応答を行い、理解を深めました。

例年、工場見学を実施していましたが、コロナ禍により実施が難しい状況だったところを、今回は工場の御協力によりこの企画が実現しました。リモートによる見学ではありましたが、児童は大いに興味をもち学習することができました。

### 「SDGsに関する授業」

令和3年2月24日（水）の1～5校時を通して、5年生を対象にさいたま市環境局、地元企業に御協力いただき、クラス毎にSDGs（持続可能な開発目標）に関する授業を行いました。

地元企業の方からは、クイズを通して「水・衛生」に関する課題について具体的に教えてもらうことで、SDGsとは何か、その必要性について考えを深めました。

また、SDGsの成功事例と取組事例の話を聞き、さいたま市が「SDGs未来都市」に選定されていることの説明を受けました。そして、木のストローを作る体験活動も行い、SDGsは身近なことから取り組むことが重要であることを学びました。



【SDGsに関する授業風景】

宮原小学校の取組では、地域の理解を深める活動行ったり、リモートの社会科見学やSDGsの授業を行うなど、コロナ禍においても児童が学ぶことができるよう地域の方々や企業、保護者と連携し工夫して実施していることがうかがえます。

今回は、浦和区の市立本太中学校の取組を御紹介します。

本太中学校では、地域の力を活用した様々な活動をとおして、直接触れたり体験したりしていく中で、生徒自身が成長していくことができる取組を行っています。

### 「埼玉県警少年指導員との連携活動」

本校では、埼玉県警少年指導員の方が、毎月1日と15日の2日間本校に来校し、西門付近で登校の見守り活動を行ってくれています。昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1学期の登校が不規則であったため、9月からの実施となり、月2回ではありましたが、生徒たちを見守りながら「おはようございます」の声を掛けてくれているので、あいさつを交わせる生徒が増えました。

また12月には、本校生徒会のあいさつ運動と連携し朝の声掛けを行いました。普段からよくあいさつを返してくれる生徒ですが、この日は特に大きな声が出ていました。



【埼玉県警少年指導員とタイアップした登校時の見守り】

### 【青少年宇宙科学館やボランティアの方との天体観測会】



### 「天体観測会」

青少年宇宙科学館の職員と地域のボランティアの方に御協力いただき、3年生を半分に分け、その前半組は1月20日に天体観測会を実施し、天体望遠鏡により月や木星、土星の観測を行いました。天体望遠鏡での観察が初めてという生徒が多く、月のクレーターや土星の輪を直接見ることができて感動していました。

翌日は雨で、後半組の観察は中止となり、12月22日に2回目の観測会を実施しました。前後半が同じ条件で実施できませんでしたが、この日は、月の観察に加え、木星と土星の大接近という397年ぶりの天体ショーを直接見ることができ、生徒に貴重な体験をさせることができました。

### 「地域防災活動と連携した一斉下校訓練」

本太中学校では、一昨年に地域防災活動と連携した一斉下校訓練を行いました。一斉下校訓練のとき、下校班の解散場所に各自治会の防災担当者の方に来ていただき、「地域防災における中学生の役割」についてのお話をいただいたり、防災倉庫の中を見せていただくなど、地域の防災活動についての指導を受けました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できませんでしたが、今年度は6月25日の一斉下校訓練の際、各自治会の協力のもとに実施することができました。生徒たちは、自分たちの暮らす地域の方からの普段は聞くことができない話を聞き、あらためて「地域の中での中学生の大切さ」を実感することができたようです。



【地域の防災活動と連携した一斉下校訓練】

本太中学校では、地域とのつながりを大切しながら体験活動などを実施することで、生徒自身が考えるきっかけを作り、成長につながるように様々な取組をしていることがうかがえます。